


[春薬柳] 実証記録				実施地	そらち森林組合 砂川管理地内			
育成総数	100本	現況数	87本	実施品目	春薬柳(広葉樹)	試験面積	170 m <sup>2</sup>	
試験開始	平成30年5月17日 (植付日)			調査日	平成30年10月30日	経過	166日目	
前回調査	平成30年8月7日	直径	10mm	気温: 6.5°C	今回調査記録		直径	12mm
作業内容	苗木植付	高さ	0.6m	作業内容	忌避剤液の散布・育成調査	高さ	0.9M	
 <p>●植付時の穂場・春薬柳姿 ↑</p>				  <p>↑ 忌避剤液散布中(2回目) 育成木 H=80 cm→+15cm</p>				
				  <p>●鹿被害による中間葉の食害 育成木 H=80 cm→+15cm</p>				

■ 育成状況

- ・ 前年11月の原木伐採後素地により、土壤温度・土の流れ等により生育状況は依然悪い。
- ・ 土壤未腐葉土により、松材植樹の育成から判断すると2~3年間程、発達障害により生育しづらい。
- ・ 鹿道により新芽・中間葉を食用被害多数あり。但し、育成に関しては問題は発生していない。
- ・ 食被害にも関わらず「春薬柳」の育成力により、減木もなく残木は上部へ成長している。
- ・ 来年早々雪解け後の植え付けにより、冬季被害の有無調査の為、来春観察実施する。
- ・ 11月に入り霜が降りると気温も一層低下し落葉が始まる。

植付場所→



■ 備考

- ・ 第2回目→忌避剤の散布→ヒトデ水溶液+ナノ水希釈液の散布開始  
※根本直接散布による